

ThreeBond TOMOI ENGINE UMEDA

**F3** 2018  
JAPANESE FORMULA 3  
CHAMPIONSHIP

# RACE REPORT

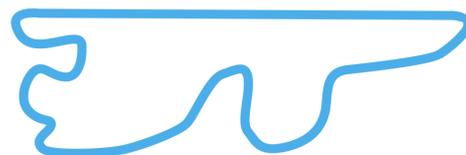
Vol.03



## Round5/Round6 7月7日(土)/7月8日(日) 富士スピードウェイ

〒410-1307 静岡県駿東郡小山町中日向6 9 4  
TEL: 0550-78-1234  
<http://www.fsw.tv/>

at FUJI



コース全長 : 4,563m  
コース幅 : 15~25m  
高低差 : 上り最大8.88% 下り最大10.05%  
直線長 : 1,475m

**QMI**  
beyond the invisible

**KS Material** co.

**URC**

**KAJIMA**

**FUJI xerox**  
富士ゼロックス多摩株式会社

**inoki**

**ODYSSEY**  
ODYSSEY RACING PARTS

**Swift**  
SWIFT RACING PARTS

**SHIBA**  
Performance Parts

PT01  
production line

**zahzen**

**WPC**  
METAL SURFACE TREATMENT

**RAVS**

**KRS**

**PATRICK**

**リポビタンD**

**DESCENTE**

**京華小吃**  
Jing Hua Xiao Chi  
Singapore's Original Dried Noodle House

**IL POLLENZA**  
Carboni Attivi - Forni

7月7日(土)~8日(日)、全日本F3選手権シリーズ Round 3 (第5戦、第6戦)が、静岡県富士スピードウェイで開催された。ThreeBond Racingは笹原右京と共にこのレースに出場した。停滞する梅雨前線の影響で富士スピードウェイは7月5日(木)、7月6日(金)に行われた占有走行からウェットコンディションとなり笹原は、7月5日(木)は3番手、7月6日(金)は4番手のタイムを記録し7月7日(土)の公式予選に臨んだ。

## ▽公式予選

7月7日(土)午前8時30分から公式予選が始まった。30分のセッションで記録したベストラップタイムで第5戦、セカンドベストラップタイムで第6戦のスターティンググリッドが決まる。

早朝まで土砂降りだった雨はほぼ上がったものの、路面はウェットコンディションでセッションが始まった。笹原はユーズドレインタイヤでコースインしたが、走り始めると予想外のグリップ不足を感じ、ピットに戻って調整を行った。木曜、金曜とウェットコンディションで走行を重ね、マシンを仕上げただけに予選もウェットコンディションを望んでいたが、期待を裏切る展開となった。

笹原とチームは、リヤのアンチロールバーを中心にグリップを確保するようセッティングを変更していったが大きな好転を見ず、タイムは中団にとどまった。笹原もチームも原因がわからず困惑するばかり。そのうち、再び雨が降り始めコースコンディションは悪化し始めた。セッション後半、笹原は2セット目にニューレインタイヤを装着してタイムアタックを行った。ここでようやくタイムが出始め11周目に1分53秒568を記録したが第5戦のスターティンググリッドは8番手、8周目の1分53秒829で第6戦のスターティンググリッドは9番手と決まった。



## ▽公式予選 結果

	Pos	No	Driver	Team	Time	Gap
公式予選 第5戦	1	36	坪井 翔/Sho Tsuboi	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	1'51.995	-
	2	1	金丸 悠/Yu Kanamaru	B-MAX RACING TEAM	1'52.162	0.167
	3	93	大湯 都史樹/Toshiki Oyu	TODA RACING	1'52.230	0.235
	4	2	阪口 晴南/Sena Sakaguchi	TODA RACING	1'52.234	0.239
	5	37	宮田 莉朋/Ritomo Miyata	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	1'52.645	0.65
	6	14	根本 悠生/Yuuki Nemoto	ALBIREX RACING TEAM	1'53.276	1.281
	7	35	河野 駿佑/Shunsuke Kohno	RS FINE	1'53.314	1.319
	8	12	笹原 右京/Ukyo Sasahara	ThreeBond Racing	1'53.568	1.573
	9	8	片山 義章/Yoshiaki Katayama	OIRC team YTB	1'53.716	1.721
	10	3	三浦 愛/Ai Miura	B-MAX RACING TEAM	1'53.770	1.775

	Pos	No	Driver	Team	Time	Gap
公式予選 第6戦	1	36	坪井 翔/Sho Tsuboi	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	1'51.998	-
	2	93	大湯 都史樹/Toshiki Oyu	TODA RACING	1'52.348	0.350
	3	2	阪口 晴南/Sena Sakaguchi	TODA RACING	1'52.563	0.565
	4	37	宮田 莉朋/Ritomo Miyata	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	1'52.739	0.741
	5	1	金丸 悠/Yu Kanamaru	B-MAX RACING TEAM	1'52.764	0.766
	6	14	根本 悠生/Yuuki Nemoto	ALBIREX RACING TEAM	1'53.372	1.374
	7	35	河野 駿佑/Shunsuke Kohno	RS FINE	1'53.513	1.515
	8	3	三浦 愛/Ai Miura	B-MAX RACING TEAM	1'53.782	1.784
	9	12	笹原 右京/Ukyo Sasahara	ThreeBond Racing	1'53.829	1.831
	10	8	片山 義章/Yoshiaki Katayama	OIRC team YTB	1'53.935	1.937

## ▽第5戦 決勝

7月7日(土)午後1時30分、シリーズ第5戦決勝レースが始まった。朝の雨は止んでコースは乾きドライコンディションとなったため、チームは持ち込みのドライ用セッティングへ戻してレースに臨んだ。笹原はコースインした段階で好感触を得たが、まだリアのグリップ不足を感じたためスターティンググリッド上でリヤサスペンションに微調整を加えてスタートを待った。

スタートの瞬間、フロントローの#1 金丸選手が出遅れ、それを避けるために混乱が生じた。笹原は後方からうまくすり抜け一気に6番手まで順位を上げて第1コーナーを立ち上がると、続くコカ・コーラコーナーでアウトから5番手、ダンロップコーナー立ち上がりで#37 宮田選手をオーバーテイクして4番手、最終コーナーで#9 大湯選手のインに入って3番手へと順位を上げた。

さらに笹原はペースを上げ、5日目にはこのレースのファステストラップとなる1分35秒105を記録しながら2番手の#2 阪口選手を猛追、間隔を縮めていった。10周目、笹原はテールトゥノーズの状態に持ち込んで攻め寄るが、順位を入れ替えることはできず、11周目にも接触寸前まで激しくアタックを行ったがやはりオーバーテイクには至らない。この間に笹原はタイヤを消耗させてしまったため一旦間隔を開いてクールダウン、最終周に改めて詰め寄ったが結局追い抜くことはできず0秒539の差で3位のチェッカーフラッグを受けた。この順位は笹原にとっては今季最高位であり、初めて全日本F3選手権の表彰台に上がることになった。

3位に入賞した笹原はシリーズポイント5点とファステストラップポイント1点の計6点、ThreeBond Racingはチームシリーズポイント5点を獲得した。



Pos	No	Driver	Team	Time	Gap
1	36	坪井 翔/Sho Tsuboi	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	23'52.734	-
2	2	阪口 晴南/Sena Sakaguchi	TODA RACING	24'00.102	7.368
3	12	<b>笹原 右京/Ukyo Sasahara</b>	<b>ThreeBond Racing</b>	<b>24'00.641</b>	<b>7.907</b>
4	93	大湯 都史樹/Toshiki Oyu	TODA RACING	24'08.126	15.392
5	1	金丸 悠/Yu Kanamaru	B-MAX Racing Team with NDDP	24'13.651	20.917
6	35	河野 駿佑/Shunsuke Kohno	RS FINE	24'17.583	24.849
7	8	片山 義章/Yoshiaki Katayama	OIRC team YTB	24'25.438	32.704
8	37	宮田 莉朋/Ritomo Miyata	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	24'31.840	39.106
9	14	根本 悠生/Yuuki Nemoto	ALBIREX RACING TEAM	24'32.065	39.331
10	30	DRAGON/DRAGON	B-MAX ENGINEERING	25'01.079	1'08.345

\*FL(ファステストラップ) : #12 笹原 右京/Ukyo Sasahara 1'35.105 5/15 172.723km/h

## ▽第6戦 決勝

7月8日(日)午前10時15分からシリーズ第6戦が開催された。天候は回復しドライコンディション。チームは前夜、第5戦決勝レースのデータを分析、レース終盤にオーバーステア傾向が強まった現象なども含め対応策を考えセッティングを微調整して笹原をコースへ送り出した。スタート合図の瞬間、ポールポジションの#36 坪井選手が出遅れ、笹原はそれをかわしながら9番手グリッドから7番手に順位を上げた。2周目には2台をオーバーテイクして5番手へ進出、3周目には上位車両がトラブルで脱落したため笹原の順位は劣せず4番手となった。2番手を走る#1 金丸選手のペースが上がらず、3番手#37 宮田選手がオーバーテイクの際を狙っている間に笹原は2番手争いに追いつき、4周目には3台が一団となり5周目、#36 宮田選手が#1 金丸選手をオーバーテイクした。笹原はそれに続こうとしたが追い抜きには至らず、駆け引きの間に後方から#36 坪井選手の接近を許してしまい、最終コーナーで先行を許した。6周目を5番手で終えた笹原は7周目の第1コーナーでようやく#1 金丸選手をオーバーテイクして4番手となったが、その時には3番手の#36 坪井選手とは3秒5の差を許してしまう。レース終盤、我慢の走り続けていると3番手まで順位を落としてきた#2 阪口選手が前方に現れ、笹原は3番手争いに持ち込んだ。フィニッシュまで残り2周となった19周目、ついに1コーナーで笹原は#2 阪口選手のインに飛び込み、3番手に進出するとそのまま逃げ切ってチェッカーフラッグを受け前日に続き連続表彰台を獲得した。3位に入賞した笹原と ThreeBond Racing はそれぞれシリーズポイント5点を獲得し、この結果笹原はドライバーランキング4番手、ThreeBond Racing はチームランキング3番手につけ、Round 3を終えた。



Pos	No	Driver	Team	Time	Gap
1	37	宮田 莉朋/Ritomo Miyata	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	33'38.310	-
2	36	坪井 翔/Sho Tsuboi	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	33'39.686	1.376
3	12	<b>笹原 右京/Ukyo Sasahara</b>	<b>ThreeBond Racing</b>	<b>33'41.622</b>	<b>3.312</b>
4	2	阪口 晴南/Sena Sakaguchi	TODA RACING	33'44.198	5.888
5	35	河野 駿佑/Shunsuke Kohno	RS FINE	34'02.107	23.797
6	1	金丸 悠/Yu Kanamaru	B-MAX RACING TEAM	34'03.791	25.481
7	3	三浦 愛/Ai Miura	B-MAX RACING TEAM	34'14.908	36.598
8	14	根本 悠生/Yuuki Nemoto	ALBIREX RACING TEAM	34'18.390	40.080
9	28	山口 大陸/Tairoku Yamaguch	TAIROKU RACING	34'32.607	54.297
10	30	DRAGON/DRAGON	B-MAX ENGINEERING	35'00.067	1'21.757

\*FL(ファステストラップ) : #36 坪井 翔/Sho Tsuboi 1'35.098 7/21 172.753km/h



## ▽ドライバーコメント

雨の予選では原因不明のグリップ不足に陥り、決勝は2戦とも不本意なポジションからスタートせざるをえませんでした。原因がまったくわからずぼくもチームも頭を抱えてしまいました。でも決勝はドライコンディションになったので、伊与木エンジニアとも話して、調子の良かった3月の合同テスト時のセットを基本に車を決めて臨んだところ、フィーリングがよくなりました。この週末は、エンジニアとのコミュニケーションがかみ合って、「レースをやったな」という気分です。鈴鹿、SUGOと予選でも決勝でもトムスの2台にはまったく及ばなかったのですが、ようやく決勝では戦えるところまでできました。しかし、ウェットコンディションでは何が起きたのか原因を解明できたわけではないので、しっかり解析して次戦岡山のRound 4に備えます。岡山では雨が降ってほしいです。原因を解明したことを証明したいです。



## ▽ランキング

順位	ドライバー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	合計	点差	
		鈴鹿	SUGO	富士	岡山	もてぎ	岡山	SUGO	富士														
1	坪井 翔/Sho Tsuboi	11	12	12	11	11	9															66	-
2	宮田 莉朋/Ritomo Miyata	8	7	7	8	0	10															40	26
3	阪口 晴南/Sena Sakaguchi	5	5	3	5	7	3															28	38
4	<b>笹原 右京/Ukyo Sasahara</b>	<b>3</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>6</b>	<b>5</b>															<b>18</b>	<b>48</b>
5	大湯 都史樹/Toshiki Oyu	0	0	5	3	3	DNF															11	55

\*DNS : Do Not Start 棄権 \*DNF : Do Not Finish リタイア \*DSQ : Disqualified 失格

\*1位10ポイント、2位7ポイント、3位5ポイント、4位3ポイント、5位2ポイント、6位1ポイント

PP(ポールポジション)、FL(ファステストラップ)は1ポイント追加

順位	チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	合計	点差	
		鈴鹿	SUGO	富士	岡山	もてぎ	岡山	SUGO	富士														
1	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	10	10	10	10	10	10															60	-
2	TODA RACING	5	5	5	5	7	3															30	20
3	<b>ThreeBond Racing</b>	<b>3</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>5</b>	<b>5</b>															<b>17</b>	<b>33</b>
4	B-MAX RACING TEAM	2	2	1	0	2	1															8	35
5	OIRC team YTB	0	3	0	1	0	0															4	36